

「感じ」「動き」「かわる」…新たな未来におかって！



さくらの学校だより

平戸市立田平東小学校 学校だより 令和8年2月16日 文責：校長 森川 稔



歌声が響いています

2月も後半に入り、3 学期も折り返しになります。各学年とも年度末に向けての取組を始めています。先週金曜日は、歌声集会を行いました。田平東小のリーダーとしてがんばってきた6年生の卒業が近づいてくる中、在校生と卒業生、それぞれに別の場所で卒業式の式歌の練習をしました。単なる声の大きさとかではなく、これまで一緒に過ごしてきた中での数々の思いや感謝の気持ちを、どのように歌に込めて伝えればいいのかを考えながら、一生懸命練習に取り組んでいます。



このような力の定着を目指しています

昨年12月に行った市学力調査について、すべての児童の取組の状況について分析し、得意な分野や、逆に課題と感じている分野を把握し、改善を図ろうと取り組んでいます。お子さんの状況につきましては、各学年・学級で今月の学級懇談会の中で個票と問題用紙をお渡しし、担任から説明をいたします。結果の数値に一喜一憂するのではなく、本校の(うちの子の)できているところ、課題として悩んでいるところを共有し、学校での指導、ご家庭でのご支援について考える機会になることを願っています。

毎日の授業の中のちょっとした時間や、毎週火曜日と木曜日の朝の活動で行っている“学力向上”の時間、家庭学習を活用して、まずは子どもたちの意識向上を図り、学校と家庭、地域が一体となった学力向上を目指します。

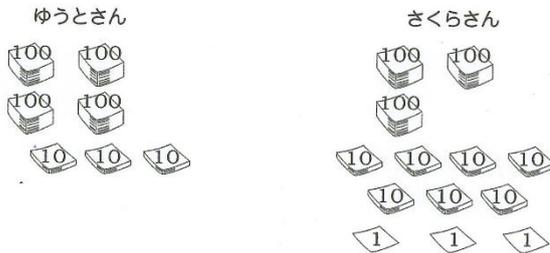
その一例として、2 年生で先日、学力向上の時間に取り組ませた内容についてご紹介します。ポイントは、答を出すのではなく、その過程や根拠を自分の言葉で示すこと、言い換えれば「AかBか」ではなく“どうしてA(またはB)なのか”“どのように考えたか”などについて、「自分の言葉で表現する」ことに視点を絞った内容が求められます。具体的には以下のような問題です。

設問□について、このような問題に出会った子どもたちは、ゆうとさんかさくらさんかのどちらがたくさん折り紙を持っているかを早く求めたくて、考えを記述する前に「先生、わかりません」という声がたくさん聞こえてきます。

1

ゆうとさんと さくらさんの どちらが たくさん おり紙を もっているか、くらべてみました。

どのように 数えたのかを せつめいして、どちらが 多いの か 答えましょう。



2

ゆうとさんの おり紙は、10まいの たばを いくつあつめた 数に なるでしょう。せつめいして みましょう。

子どもたちの心理としては、結論が欲しくて、その理由や根拠について解答の根拠を述べることに苦手意識をもっている様子が伝わってきました。学習の中で考えた「10の束」「100の束」という言葉を使えば簡単に答えが導けることをアドバイスすると、安心して解く子が増えました。このような問題は、解答は一つではなく、いろいろな言い方、説明の仕方があるということを理解させ、何度も繰り返して取り組ませることが必要だと感じています。

設問2については、10と100との関係が理解できていないと説明

ができませぬ。ふだんの授業の中でどのように学んでいるか、ノートやプリントにどのようにまとめているかが大切です。同時に教師側も、数の関係性を「どのように教えたか」「教えたあとの見届けができてきているか」を振り返ることが必要であると話しています。

来週の学級懇談の中で各担任から渡される個票と問題用紙（正解している問題には付箋を貼っています）をもとに、お子さんの学びの様子を確認していただけると幸いです。

リーダーとしての自覚

先週行った次年度に向けた入学説明会では、10名の新1年生と保護者の方々が来校されました。入学や学校生活について説明している間、次年度リーダーとなる現5年生が、新1年生と一緒に過ごし、仲良くなることができました。優しい言葉遣いやトイレなどの声かけなど、相手を思いやる姿に最高学年（リーダー）となるための自覚が感じられました。



平戸市の代表として

昨日、諫早市で行われた第72回郡市対抗駅伝大会に小学生枠として本校から5年生のS.DさんとH.Rさんがエントリーされ、平戸市の代表としてがんばりました。とてもいい走りでも多くの声援を受けていました。駅伝以外にも、習字や相撲など、校内外での子どもたちのがんばりが光っています。



← 田平東小HPはこちらから